

事 務 連 絡
平成30年2月 7日

中国バス協会

会長 松村 喜裕 殿

中国運輸局 鉄 道 部 長
自動車交通部長

降積雪時における鉄軌道事業者が行う乗客救出の応援協力について

日頃より、交通運輸行政に対して、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年1月11日、東日本旅客鉄道(株)信越線において、大雪の影響により列車が動かなくなり、運転再開までに15時間を超える事案が発生しました。このことにより約430名の乗客が車内に留め置かれ、体調不良の方が発生するなど公共交通利用者の方に多大な迷惑を及ぼすことになりました。

この事案について、当該事業者が検証した結果、運行再開を優先し、自治体等への支援要請を行っていなかったこと、旅客自動車運送事業者との調整が事前に行われていなかったことなど、乗客の救出に関する対応が不十分であったなどの課題が明らかになったところです。

本件のような事案を繰り返さないようにするため、鉄軌道事業者に対して別紙のとおり指導を行っているところですが、今後、鉄軌道事業者から救援に対する事前の相談などがあった場合におきましては、事情をご理解のうえご協力頂きますよう貴協会傘下会員事業者の皆様に対してご周知のほど、よろしくお願い致します。

中国鉄計第104号
中国鉄技第99号
中国鉄安第157号
平成30年1月19日

管内鉄軌道事業者 代表者 殿

中国運輸局鉄道部長

降積雪時における輸送の安全の確保及び乗客の救出について

平成30年1月11日、東日本旅客鉄道株式会社 信越線において、大雪の影響により列車が動かなくなり、運転再開までに約15時間半を要する事案が発生しました。このため、約430名の乗客が車内に留め置かれ、体調不良の方も出るなど、利用者に多大な迷惑を及ぼすこととなりました。

本事案について、同社が検証した結果、運行再開を優先し乗客の救出に関する対応が不十分であったこと、消防に対する救急搬送の要請等を除き、自治体等への支援要請を行っていなかったこと、乗客に対する情報提供内容が除雪作業の進捗等にとどまったこと等の課題が明らかになったところです。

つきましては、今回のような事案を繰り返さないよう、適切な運行判断、旅客への運行情報等の提供及び自治体等の関係機関への支援要請など、適切な対応を行うようお願いいたします。

なお、下記事項について、その対応状況を別添報告様式により2月13日までに報告願います。

記

1. 東日本旅客鉄道株式会社から報告された別添資料の内容について、社内に周知し、各社の立場で検証等を行うこと。
2. 長時間にわたる駅間停車が発生すると見込まれる場合には、運行再開と乗客救出の対応を並行して行うことを徹底し、乗客救出にあたっては、救出を優先すべき乗客や自ら避難可能な乗客から順次救出することを含め、あらゆる手段を講じること。また、状況に応じ、警察、消防、自治体等の関係機関に支援を要請すること。さらに、乗客に対し復旧の見通し等について適切な情報提供に努めること。
3. 乗客の救出において、迅速に代替輸送手段が確保できるよう、あらかじめバスの手配や除雪作業等について取り決めておく等、バス事業者や関係機関等との協力体制を至急整備すること。
4. 大雪に備えた事前の準備として、状況に応じて迅速な除雪が行えるよう、除雪車の出動準備、除雪体制の確認を行うこと。
5. 降積雪の状況等に応じ、適切に除雪を行うとともに、列車が駅間に停止することのないよう、必要な場合には列車の運転を見合わせる等の適切な措置をとること。